

**事例69 つどい場休止期間中の見守り・繋がり活動**

分類：

居場所

アウトリーチ

相談

学習支援

見守り

住民主体

**運営団体基本情報**

● 運営団体名	※複数団体での取り組みのため、事例一覧を参照してください。	● 代表者名		● 所在地	
● スタッフ構成		● 運営財源			
● 連絡先	TEL:                      Mail:			● ホームページ（参考情報）	

**新型コロナウイルス感染症拡大前の事業概要**

● 対象者層	おおむね65歳以上の高齢者	● 活動頻度	週1回	● 活動場所	市立集会所や地域の会館等
● 活動の形態	高齢者サロン	● 平均利用者数	16人/7か所	● 利用料金	100円/回

**[活動の特徴と新型コロナウイルス感染症対策]**

具体的な活動	●新型コロナウイルス感染症拡大前	お茶を飲みながらのおしゃべり、簡単な体操、懐かしい遊び、笑いヨガ、みんなの認知症予防ゲームなど介護予防を目的として、高齢者の集まる場所の提供とレクリエーションを実施。厚労省から介護予防では、週1回以上の外出などが求められていることから、開催頻度も週1回（2時間）で曜日を固定し、参加することを習慣化することも目的としている。 対象者：おおむね65歳以上 費用：100円（お茶・お菓子代として） 活動場所：市立集会所、地域の会館等	● 活動経費	市からの委託事業のため、週1回の活動に対して、つどい場中止期間中の見守り・繋がり活動に対しても委託費を支払っている。1回開催：1万円
	●新型コロナウイルス感染症拡大後の取組と工夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、つどい場活動を休止。中止期間の高齢者不活発や繋がりが希薄になることを予防するため、各団体による週1回程度、以下の活動を実施。  ・フレイル予防や熱中症予防などの各種啓発チラシ配布（訪問・郵送） ・リハビリ専門職と一緒に気になる方へ訪問し、体操等の指導 ・返信用はがきを同封し、利用者から現状などのお声など状況確認 ・スタッフからのお手紙やはがき、つどい場通信発行	● その他、特記事項	★市町村基本情報 大阪府摂津市 人口 86,753人 高齢化率25.6%（2020.6末）
●取組の効果	<p>・定期的にコンタクトを取ることで、生活不活発に陥っているような利用者をいち早く見つけることができ、リハビリ専門職や各支援者へ連携をとることができた。</p> <p>・電話やお便りなど、何かしらの方法で自分あてに連絡が入ることが、とてもうれしく、「コロナで外出制限がされる中、誰かと繋がっている」と強く感じる事が出来たという声を多くいただいた。</p>			 